

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
老年看護学総論	2年次 前期	必修	講義	2単位（30時間）	佐藤 純子 ※
授 業 概 要					
<p>老年期を人間的成熟・統合の時期であるという立場から捉え、老年期を生きる人々とその家族の生活、社会の諸問題を学ぶことを通して、高齢者を身近な存在として関心を持てるよう展開する。</p> <p>個別的で多様な状況を併せもつ高齢者に対し、高齢者の QOL を重視した生活機能について、アセスメントする視点と方法を学ぶ。</p>					
到 達 目 標					
<p>1. 老年看護の定義・目的・方法について説明することができる。</p> <p>2. 高齢者の生活機能について、ICF の視点に基づき看護の展開を述べる。</p> <p>3. 健康課題をもつ高齢者の生活機能について、ICF の視点からアセスメントし看護計画を立案する。</p>					
実務経験のある教員					
佐藤 純子、坂本 優子：高齢者看護の臨床経験を踏まえ、老年看護について概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1	1. 老年期の特徴（生涯発達論Ⅱの復習）				佐藤 純子 ※
2	2. 老年看護とは				坂本 優子 ※
	1) 老年看護の定義				
	2) 老年看護の目的				
3-6	3) 老年看護を支える理論・概念 パーソン・センタード・ケア、エンパワメント、ストレングスモデル				
	4) 高齢者を取り巻く保健医療福祉制度 ①日本における保健医療福祉制度の変遷 ②高齢者の健康づくりに関する制度・法律 ③介護保険制度 ④高齢者の生活を支える地域包括ケアシステム ⑤後期高齢者医療制度				
	5) 高齢者の権利擁護 ①高齢者の権利擁護と意思決定支援 ②高齢者に対する虐待 ③身体拘束 ④高齢者の権利を守る制度				佐藤 純子
7-15	3. 生活機能（ICF）の視点に基づく高齢者のアセスメントと看護				
	1) ICF とは（復習） 2) ICF の視点で対象を捉える方法 3) ICF を使用したアセスメントと看護計画立案 ～紙上事例を使用した演習～				
学 習 方 法					
講義、グループワーク、紙上事例展開（演習）					
評 価 方 法					
〔評価方法〕					
小テスト 科目修了試験 演習課題の成果物					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕					
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 北川公子 他 著 医学書院 公衆衛生がみえる 医療情報科学研究所 メディックメディア					